

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻デザインコース

学年：修士課程1年

留学先大学：Glasgow School of Art（グラスゴー芸術大学）

現在の学期：stage1（セメスター1）

時間割：以下の通り

曜日	履修科目名・時間等
月	Core Research Methods Design Innovation Studio1 10:00~17:00
火	Design Innovation Studio1 10:00~17:00
水	Design Innovation Studio1 10:00~17:00
木	Design Innovation Studio1 10:00~17:00
金	Design Innovation Studio1 10:00~17:00
土・日	

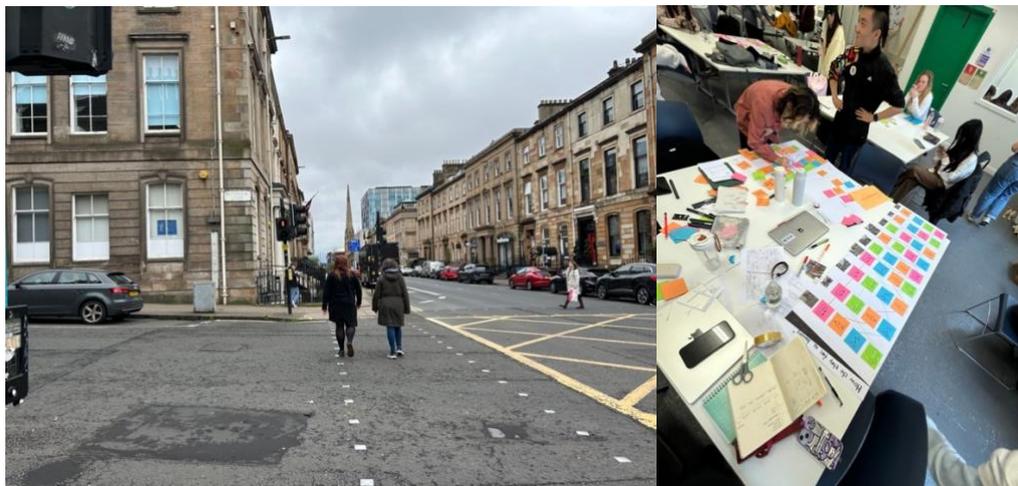
履修科目や近況について

9月に1セメスター目が開始した。私が通う Design Innovation School は一年制の大学院であり、ステージ1、2、3の3つに別れている。ステージ1では Studio1 という授業でデザインの基礎となる様々な手法をプロジェクトやワークショップを通して学び、Core Research Methods（以降 CRM）という授業でデザインリサーチについてを学ぶ。この大学院はサービスデザインやシティズンシップデザインなどいくつかのコースに分かれているが、Stage1 はいくつかのコースで共同で学習する。Stage2 はそれぞれのコースに分かれ、さらに発展的な授業が行われ、Stage3 では各々の研究の最終成果物の制作に取り掛かる。私は半年間の交換留学なので Stage1 のみに参加する。

ここより履修科目について詳しく説明する。

CRM は月曜の 14:00~17:00 で行われ、午前中は自主学習の時間となる。この授業は教師からの講義とその後のディスカッションのセットの授業となっている。この授業では授業名の通り主にデザインリサーチについて学ぶ。なぜリサーチが必要なのか、これまで行われてきたケーススタディ、具体的なリサーチの手法と結果の可視化について、日本では生半可で済まされているようなデザインリサーチを徹底的に学ぶことができる。

月曜日以外の平日は基本的に 10:00~17:00 の時間帯で Studio1 という授業が行われる。この授業の内容は時期によって変わり、初期は全員でスタジオのマニフェストを作ったり、ダンディーという都市で行われていたフェスティバルに参加したりと様々である。最近では 1 日単位でデザインの手法を学ぶワークショップ形式の授業が行われている。直近の 2 日間だと「Mapping」と「Engagement」についてのワークショップが行われた。午前中はそれぞれの手法について教授からの講義が行われる。午後は 5 人単位のグループに分かれ、与えられたテーマについてのワークを行う。「Mapping」のワークショップの例だと、「Map Glasgow's relationship between people & Mobility/Transport」というテーマと対象のストリートが与えられ、その地域の人々と移動手段についての関係をマッピングし、ストーリーをプレゼンするというものだった。デスクリサーチではなく、実際に町に繰り出して人の観察やインタビューを行う。そのあとはグループでディスカッションをし、人々と移動手段の間にどんな関係性があるか、どんなストーリーをマッピングを通して伝えられるか、どんなマッピングの形態かを話し合う。そしてそれらをアナログのツールのみでマッピングする。これらを午後の 3 時間のみで行うのでかなりタイトなワークショップである。そのあとは 16 時からグループごとにプレゼンを行い、教授からの講評を受ける。プレゼンもパワポなどのスライドを使うことはなく、模造紙や自作のプレゼンボードを持って話すことが多い。このような各手法ごとのワークショップを 1 日単位で行っていく。





これらの授業以外にも個人学習の時間は設けられており、たくさん読書をする事が求められる。特に3つの種類に分けて読むように伝えられている。リサーチについて、デザインの手法（UI、プロダクト、）について、自分の興味あること、の3種類である。これらは大学の図書館やグラスゴー大学のオンライン図書で読むことができる。大学の図書館がとても居心地が良く、頻繁に利用している。



全て英語なので専門用語などで苦労することもあるが、コツコツと覚えながら勉強を進めている。かなり力がつくと思う。

また、この Design Innovation School で唯一の交換留学生、そして日本人のため、かなり多くの方が自分のことを覚えてくれており、多くの方が話しかけてくれる。教授も非常に優しく、会うたびに名前を読んで話しかけてくれる。日本について聞かれることや、なんで日本人は掃除が得意なの？のような、あまり意識してなかったことも聞かれるので、日本の良さや素晴らしさを再確認できる機会にもなっている。吸収するだけでなく、積極的に日本の良さを発信していきたいと思う。

学習以外の面について記述する。

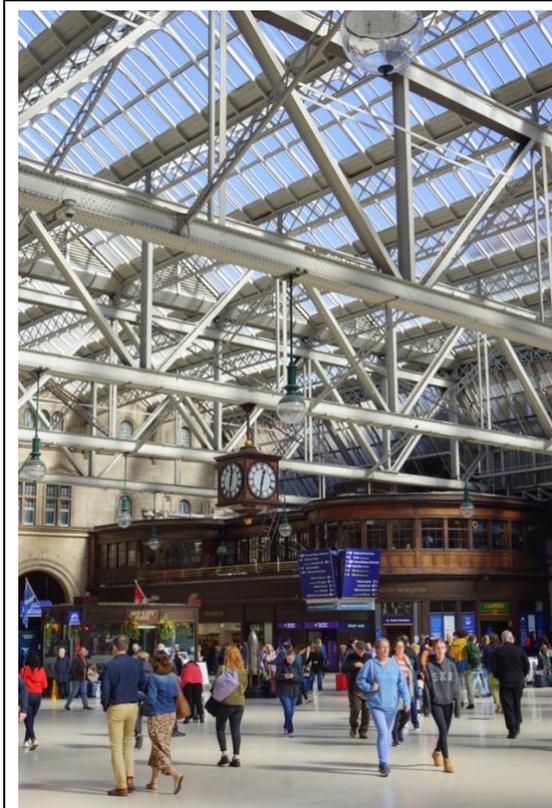
到着した当初はどの店で何が購入できるのかわからず困惑したこともあったが、現在はかなり慣れ、スコットランド生活を満喫している。自分が生活している寮も大学もかなりグラスゴー市街地の中心部にあるので、なんでも手に入る。

外食がかなり高いので、ほぼ毎日自炊をしている。たまに友人とパブに行ったり、旅行して外食をするが、皆が予想しているような「イギリス料理は美味しくない」という概念は覆りつつあるくらい普通に美味しい。ただ、スーパーに売っているサンドウィッチなどは微妙で、日本のコンビニのレベルの高さを再認識した。

また、大学でも新歓期間でダンスパーティーなどのイベントも開催してくれるので授業開始までの期間も楽しい期間を過ごすことができた。

土日は自由に使えるので毎週外出し、趣味の写真撮影や旅行を楽しんでいる。9月末に3連休があったので、それを利用してスコットランド北部・ハイランドに1人で旅行をしてきた。インヴァネスという年に3日間滞在し、ずっと念願だったスカイ島という島の日ツアーに参加した。絵画のように美しい島と言われており、全てが壮大で美しく、言葉が出ない。スコットランドに来た人は必ず行くべきである。(冬期間は閉鎖されるところも多いので、北部行くのであれば10月までに行くのを勧めます) また、エディンバラも電車で一本40分ほどで行けるので、頻繁に訪れている。また本当に無料でいいのかと感じるレベルの美術館も多くあり、休日によく訪れている。

先日は初めて海外の映画館で映画を鑑賞したが、日本との違いを非常に感じた。静けさとマナーが求められる日本とは違い、皆で笑い合いながら、お酒を飲みながら自由に鑑賞し、映画が終わると外で感想を言い合っている様子が見られた。また、グラスゴーは様々な文化と芸術が混ざり合っている町ということもあり、町の至る所で楽器や歌声を披露しているパフォーマーが見られる。このように他人の意見や文化を尊重する雰囲気を肌で感じる。





留学開始から1ヶ月ほど経つが、これまでにない刺激を受け、とても貴重な経験をさせてもらっている。何よりも病気もせず、元気な体で過ごせていることに感謝したい。